

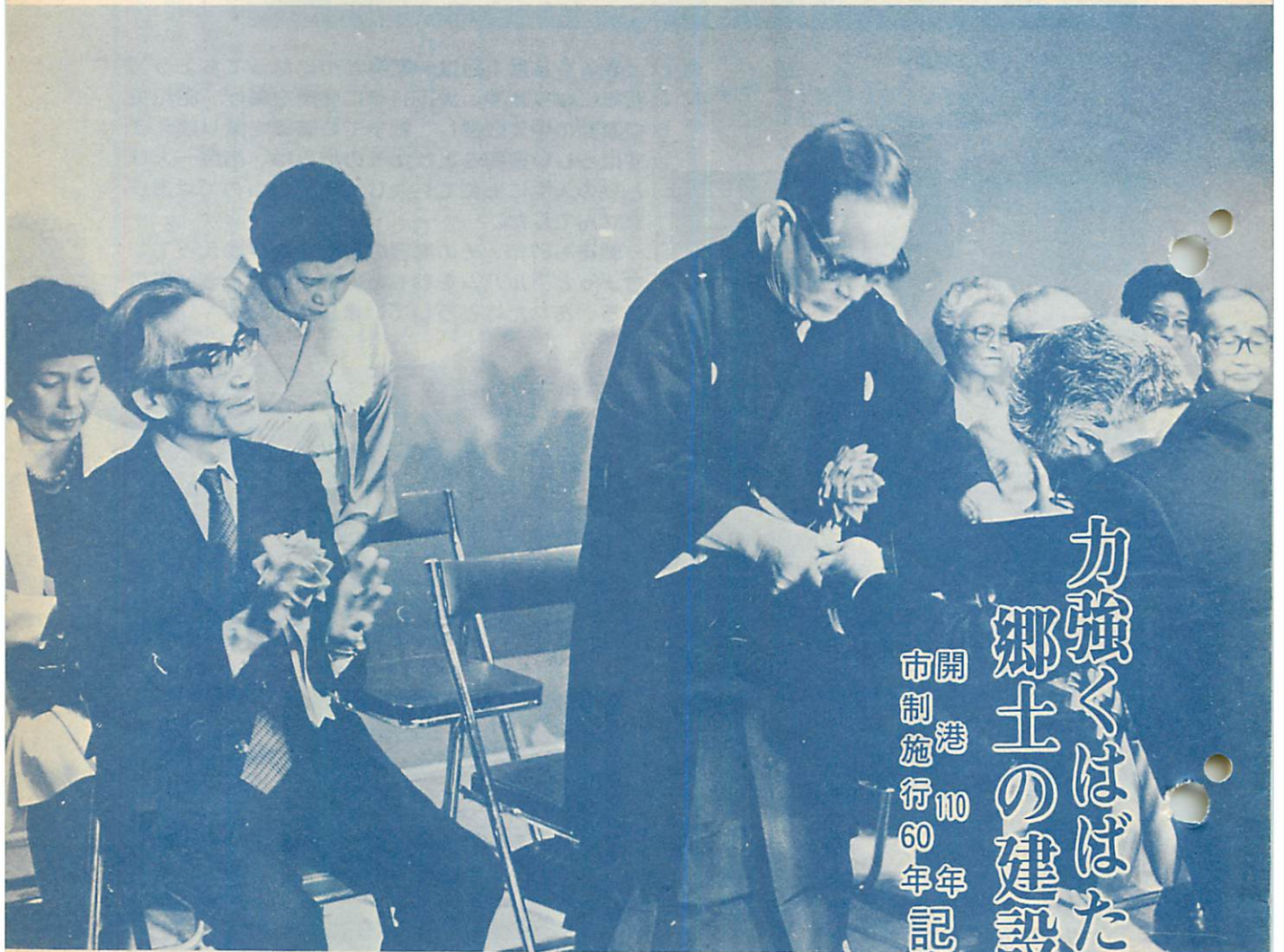
# 市政だより むろらん

57. 8. 1

No. 537

## 室蘭市民憲章

- 1、健康で働き、明るく楽しい家庭をつくります。
- 1、老人をうやまい、子どもの夢をはぐくみ、あたたかい心のかよいまちをつくります。
- 1、自然を愛し、環境をととのえ、緑豊かなまちをつくります。
- 1、のびゆく港と、産業を育て、未来を開く希望のまちをつくります。
- 1、きまりを守り、教養を深め、文化のかおりあふれるまちをつくります。



## 力強くはばたく 郷土の建設を誓う

開港110年  
市制施行60年  
記念式典

7月23日、文化センターで行った式典には、周辺市町村をはじめ、道、関係官庁など、道内外からの特別招待者と、市内一般招待者ら合わせて約1千人が出席。はじめに、今日の室蘭の基礎を築いた先人の偉業をたたえ、全員が黙とうをささげ、次いで岩田市長が、室蘭発展の経過を振り返り「未来に向かって力強くはばたく郷土の建設と、それを次代に引き継ぐのが私たちの責務」と式辞を述べた後、開港110年市制施行60年を記念して創設の「室蘭市栄誉賞」を、八木義徳氏、芥川賞作家の阿部正行氏、重要無形文化財保持の能楽師の二人に。また、特別功労者として、元市長の高薄豊次郎氏ら12氏を表彰しました。

写真は、岩田市長から栄誉賞を受ける阿部氏（左から2番目が八木氏）





# あの日、あの時、 あなたは...

△大正10年ころの札幌通り

大正11年から札幌通りの名称が消えた。写真は  
大町（現在の中央町）、当時、一番の繁華街でした

きょう8月1日は、室蘭が市になってちょうど  
60年になります。大正11年に産声をあげ、昭和史  
の激動の中で成長し、戦争での破壊を乗り越えて  
すばらしい復興をとげたその歩みは、市民一人ひ  
とりの人生にも似て、決して平穏なものではあり  
ませんでした。

戦後も37年、その風雪の日々をふりかえって、  
ちょっとアルバムをひもといてみましょう。あの  
ころ、あなたはどのようにしていましたか？



△大正中期の人々の服装

子供たちの盲じまの筒ソデ、若者のカスリの羽織  
にソウリばきの着流し、職人の印半天、帆前掛、  
黒タビにゲタバき姿など、当時の室蘭の服装があ  
ざやかに浮かびあがってきます

▷パイスケ（石炭かご）を肩に  
石炭荷役で働く人々  
明治25年から石炭積み出し港  
として、室蘭は飛躍的な発展  
をとげた



室蘭市と同じ日に誕生  
私もことし60歳



わた なべ いち  
渡辺 市さん  
(港北町 3-13-3)

私は大正11年8月1日に栄町で  
生まれました。室蘭市が誕生した  
この日の記念と初めての孫という  
ことで、祖父が「市」と名づけて  
くれたものです。よく男性と間違  
われますが、ちよびり強そうで  
自分ではとても気に入っています。  
公務員（税務署）だった父の勤  
務の都合で、子供の時から道内を  
転々としたのですが、昭和14年に  
室蘭高等女学校（清水丘高校の前  
身）を卒業後、一家挙げて満州（中  
国東北部）へ渡り、開拓団を世話  
する拓殖公社で働いたこともあり  
ました。でも、すぐに戦争でしよ  
う。新京（長春）というところで  
ソ連軍の侵入に遭い、顔にナベの





△そして、現在…  
ショッピングを楽しむ市民でにぎ  
わう市内繁華街（中央町地区）



△昭和初期の繁華街（当時の大町）  
女性の洋服姿もチラホラ見え、バスも  
マチの中を走り出している



△第1回の港まつり開かれる（22年）  
平和を迎えて復興にがんばったころ



△戦争の激化とともに出征兵士の出  
発が多くなってきた  
珍しい女性ハンドを先頭に出征兵  
士の見送り風景（12年ころ）

▷終戦後、食糧難を迎え  
朝市に殺到する市民（21年ころ）



△空襲と艦砲射撃で壊滅的な打撃を受ける  
（20年：当時の日鉄中島社宅）

スミを塗って逃げかくれたり、それは怖い思いをしました。  
終戦で21年夏、着のみ着のままリュックサックひとつ背負って、やっと生まれ故郷の室蘭へ引き上げてきました。父母と妹や弟の一家7人が6畳2間で生活。長女の私はヤミ米の売買やタバコ売りで家計を助けてもイモばかりの毎日でした。そんななか、22年から行われた港まつりは、パレードや露天店のにぎわいやらで、生活に疲れていた人々の楽しみ、気晴らしになっていました。  
私たちの世代の青春は、戦中戦後の混乱期をもみくちゃになりながら、とにかく生きることだけに、ついやされたように思いますね。輪西町で時計店を開いていた主人と23年に結婚。一人息子も社会人になって、今はどうやら人並みの幸せをかみしめていると聞きます。  
室蘭での戦後も37年。タンカーの爆発やら十勝沖地震やらいろんな出来事がありましたね。何が起っても驚かなくなつた歳ですが息子や孫が戦争にだけは行ってほしくないと思つています。  
強い名前のおかげか、重病にも負けずにきょう60歳になりました。60周年を迎える室蘭市も、これらの時代をたくましく発展してほしいと思つています。私もまだまだがんばります。



# ぼくじ わたしの ミニギャラリー

- 絵画 本室蘭小学校 伊藤 昭夫 教諭  
          本室蘭小学校 石川 孝一 教諭
- 書 本室蘭小学校 坂田 義藏 教諭  
      本室蘭小学校 遠藤 悠子 教諭  
      蘭東中学校 西川 秀峰 教諭

【寸評】

作品は、教育委員会1階ロビー(栄町2-1-19)に8月31日まで掲示します。ぜひ、実物もご覧ください。

▲蘭東中2年 二本柳 千明  
ひきしまった線質の中に、のびやかさと力強さが感じられる作品。点の納めを工夫するところ。

# 民族の 祭典

千明

# 放送

小五

岩間友見

▲本室蘭小5年 岩間 友見

のびのびした力感あふれる作品で、筆先のさばきもじょうずです(坂田)

# 光

小四

対馬光

▲本室蘭小4年 対馬 光

左はらい、右はらいの流れがのびのびしています。筆のおき方もきちんとしています。(遠藤)

# 校庭

新宮 肇

▲蘭東中2年 新宮 肇  
おたやかな用筆で、気負わずに結体が美しい作品だが、迫力には欠ける。氏名は、やや下方に。



一人の小さな声がみんなの心に大きく広がる——。そんなあなたの提言、感動を市民にご披露下さい。

犬を飼っている方へ

## モラルを守って

主婦 菊池 和子

室蘭の短い夏の日差しを惜しむかのように、いろいろな年齢層の人で、きょうも公園はいっぱい。小さな子はお母さんと一緒に、大きな子はグループで、元氣いっぱい遊んでいる姿は、とてもほほえましいものです。

でも、ちよつと困った侵入者がやってきて不快な気持ちになります。それはワン君。飼い主の方がつないで来るのですが、自分(飼い主)がそばについているから安心なのか、自分の犬だけは人にかみつかないと、絶

対の自信なのでしようか。放す方がいます。どの犬もそうですが、クンクンとおいをかきながら人の足元に近づいてきます。動物好きの子供たちのこと、なでてあげたり、一緒にじゃれあつたりはしていますが、いつガブリとかみつかれるかと、ハラハラします。

そして特有の性質に従って、おいつけのオシッコ、フンを作ります。それも子供たちが寝そべつたり、遊んだりする芝生の中で好んでしますが、ほとんどの飼い主は知らんぷり。(私の家の前もそのコースになっています、毎日ウンザリしています)これは道路でも同じことと思えますが、犬の散歩、運動中はしっかりとつなぎ、用便の後始末はきちんとして欲しいと思います。(高砂町)

あなたの声を

お寄せください

▽住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、お送りください。

▽送り先 函55幸町1-2市役所 広報聴課「声のひろば」係

町内会の無断使用、井戸はわりまらぬよう





▲蘭東中1年 野村輝光  
1年生としてはしっかりした目を持っています。重色なども使われていますが、これに色感がつくことすばひびくはなりません。



▲蘭東中1年 庄司一郎  
一見荒っぽく見えるが、黒の服や髪の色などからも多くの色彩を感じとり、たくましく仕上げている。



▲本室蘭小4年 佐藤裕一  
建物に正直に向かっている作品です。混色もよくすばらしい色調です。



▲本室蘭小5年 松本亜紀子  
船を実にしっかりと見てかいています。色彩も明るくよくまとまっています。

## ぎく けりょう ばん 測量山

自然の仲間たち ⑱

—鳴く虫の使者—  
ウスイロササキリ

キリギリス科

「シュルル」というあまり美しくもない鳴き声ですので、聞きはれることは少ないでしょう。ただ、ああ、もう虫が鳴く季節になったなあ、という季節感がひしひしと感じられます。

8月に入りますと室蘭の夏祭りの季節です。中旬の室蘭八幡宮の大祭を中心に御傘山神社、中嶋神社、本輪西神社と大きな祭りが、そのにぎやかさを競います。祭りばやしに乗って、そこかしこの草むらからも虫の音色が聞こえ始めてきます。

夏を代表する鳴く虫の代表はなんといってもハネナガキリギリスとアカエゾゼミだと思えます。アカエゾゼミは室蘭でも測量山、室蘭岳で聞かれますが、どうしたことか、ハネナガキリギリス（本州のキリギリスとは若干形態が異なる）は室蘭周辺でそのギースチョンという、おなじみの鳴き声は聞かれません。

その代わりにこのウスイロササキリが多くいますので、至る所で鳴き声が聞かれます。

8月はまだ暑いので、涼気を感じる日没後から鳴きはじめる夜半まで聞くことができます。

いうまでもありませんが、虫の声は、鳴くと表現はしていますが、正確には前ばねと後あしをこすり合わせるの摩擦音で、小鳥の鳴き声とは根本的に異なります。面白いことに鳴く虫の音色が美しく響く種類は、科学的に4千〜5千ヘルツの振動数に集中しています。このウスイロササキリは6千ヘルツですので、やや騒がしい音に入ると思えます。

草むらで捕えたものを、容器で飼育するのは容易で、リングの薄片とニボシの薄片を与えるといいでしょう。

（日本甲虫学会会員 宮森健一  
写真も）





# 金婚式を迎える 夫婦を祝福

## 掲載もれの人は連絡を



昨年の金婚夫婦顕彰式から

市では、金婚式を迎える夫婦をお祝いするため、準備を進めています。

対象となるのは、年内に結婚50年(昭和7年1月1日から12月31日まで)に婚姻届を提出した人)を迎え、かつ9月1日現在、1年以上本市に在住している夫婦です。

今年、該当の皆さんは次のとおりです。もし、名前もれがありましたら、係まで連絡ください。

▽連絡先 福祉課老人福祉係(☎221111内線465)

〔夫婦氏名〕 敬称略

- 三宅正・タケ(絵鞆町)
- 小倉寅吉・ナカ(絵鞆町)
- 藤沢松雄・すさを(絵鞆町)
- 五十嵐与吉・タミ(祝津町)
- 池淵春蔵・まさえ(増市町)
- 長沢豊・きよ子(増市町)
- 宗卯之次・ツネ(増市町)
- 菊地寅太・三津井(増市町)
- 三嶋力松・ミドリ(緑町)
- 久保東明・富子(常盤町)
- 小林浅蔵・秀子(清水町)
- 田海芳勝・タマエ(清水町)
- 佐藤武雄・リセ(清水町)
- 中村勇・ちよ(幕西町)
- 松橋泰一郎・ナミ(幕西町)
- 東伝四郎・ハナ(本町)
- 谷久男・たか(本町)
- 佐藤政市・ミサオ(舟見町)
- 岡崎盛保・トミ(中央町)
- 小野孝太郎・サタエ(山手町)
- 塚田忠次・トキヨ(山手町)
- 塩川勝・ミエ(山手町)
- 小野福松・スゲ(母恋北町)
- 中村栄・清子(母恋北町)
- 木村鉄嶺・キミ(母恋北町)
- 下田千代松・ハナ(母恋南町)
- 須藤留五郎・キヨ(母恋南町)

- 角田市太郎・カネ(母恋南町)
- 加藤正一・きよ(御前水町)
- 宮川朝正・ユキ(御前水町)
- 多田廉平・ハナ(御崎町)
- 大場万・きよし(御崎町)
- 唯木誠・ナミヨ(御崎町)
- 大友正志・ハナ(輪西町)
- 伊藤節一・ツル(輪西町)
- 山本正雄・シゲ(輪西町)
- 菊地由吉・こうめ(みゆき町)
- 大西吉針・イト(東町)
- 三浦孝蔵・フミ(東町)
- 榎田忠孝・キイ(東町)
- 永沼寿・花枝(東町)
- 中田島市・タマ(日の出町)
- 大沼義雄・アヤオ(中島町)
- 芳賀喜市・とよみ(中島町)
- 川人勝義・ヒサノ(中島町)
- 平木七郎・こみ(中島町)
- 白戸直次郎・スミエ(中島町)
- 斉藤幸治・フミ(中島本町)
- 増田又次郎・つせ(知利別町)
- 石田米作・フジ(知利別町)
- 越谷粕太郎・タネ(知利別町)
- 川口春一・はぎ(宮の森町)
- 葛西末三郎・ちえ(宮の森町)
- 中村直蔵・とき(宮の森町)
- 田口良治・ふじを(宮の森町)
- 薩米利久治・アヤノ(宮の森町)
- 作地宗太郎・ノブ(宮の森町)
- 柏木民次郎・ケイ子(高砂町)
- 和島時次郎・ツネ(高砂町)
- 山根市次・キヨ(高砂町)
- 横山英一・のぶ(高砂町)

### 『室蘭屯田兵』上演近づく 8月22日



熱の入った練習が続く

室蘭開拓の礎となった屯田兵をテーマに、室蘭文化連盟の企画・製作による「室蘭屯田兵」が、8月22日(日) 昼夜2回、文化センターで上演されます。

タイムメシ、ムギメシ、アワノメシ：なんでも食うぞ！子供のはやし歌ではじまる「室蘭屯田兵」は、全3幕。一般応募による出演者をはじめ総勢300人による手づくりの舞台公演です。

〔キャスト〕

- 作 光城健悦
- 作曲 七戸賢一
- 演出 五十嵐昭
- 舞台監督 上谷地光男
- 音楽 室蘭混声合唱団、室蘭交

響吹奏楽団ほか

- 美術 室蘭美術協会
- 出演 劇団大地、蘭樹の会、緑ヶ丘バレエ団
- ▽入場料
- 前売券 大人800円、小中学生500円
- 当日券 大人1千円、小中学生600円
- ▽入場券取扱所 文化センター、市民会館、十字屋レコード店、室蘭ファミリーデパート桐屋
- 〔詳細〕文化センター(☎223156)

### 講座・講習会

- 〔茶道講座Ⅱ裏千家〕
- ▽開講日 8月26日から11月4日 までの毎週木曜日 8回開催
- ▽時間 10時～12時
- ▽菓子代 1千円(8回分)
- ▽定員 20人
- ▽締切 8月20日(消印有効)
- 〔手編み講座〕
- ▽開講日 9月2日から11月25日 までの毎週木曜日 12回開催
- ▽時間 10時～12時30分
- ▽材料費 1点2千500円程度
- ▽定員 30人
- ▽締切 8月24日(消印有効)
- 〔華道講座Ⅱ小原流〕



市有地の無償使用 来月にはやめさし

- 加藤庄次郎・喜代子(高砂町)
- 須藤正一・サキ(高砂町)
- 中村俊介・ハツエ(水元町)
- 野口仙太郎・わくり(水元町)
- 加茂倉蔵・サタ子(天神町)
- 田原運吉・ミヤ(本輪西町)
- 川西清司・タカ(本輪西町)
- 大内広・トメ(本輪西町)
- 河野三平・テルヲ(柏木町)
- 佐々木宏平・ユキノ(柏木町)
- 山下正吉・ヨ子(崎守町)
- 加藤繁男・君子(白鳥台)

### 77歳以上の人に 敬老年金を

申請は31日まで

満77歳以上の人に敬老年金を差し上げています。  
対象は、明治38年12月31日までに生まれ、昭和56年9月15日までに本市に住民登録をしている人で、該当する人は、8月31日までに福祉課かサービスセンターに印鑑を持って申請してください。昨年この年金を受けた人は、必要ありません。

▽支給額  
満77歳～87歳 6千円  
満88歳以上 1万1千円

▽支給期間 9月16日～30日

▽詳細 福祉課老人福祉係 ☎221111内線465

### 国民年金

#### 福祉年金 証書の提出を

福祉年金を受けている人は、毎年、国民年金証書(緑色の福祉年金証書)の提出が必要です。これは今後1年間に支給する金額を記入するための大切な届けです。今年も別表の日程で受け付けますが、年金の8月期支給分(8月11日以降、郵便局で支払開始)を必ず受領の上、行ってください。

- 国民年金証書
- 56年分源泉徴収票(本人、配偶者)

受付月日	受付場所
8月16日	衛生課西分室
17日	母恋津
18日	中島地区
19日	本輪西地区
20日	東地区
23日～25日	本庁国民年金係

〈受付時間は10時～16時〉

### 公営住宅 入居収入基準の改正

公営住宅法施行令の一部が改正され、8月1日から下表の入居収入基準が適用されます。

▽詳細 住宅課住宅係 ☎221111内線581

公営住宅入居収入基準表(給与所得者1人の場合)

扶養親族	2種	1種
0人	(1,160,000)以下 1,705,999	(1,160,000～1,843,999) 1,706,000～2,631,999
1	(1,571,999) 2,121,999	(1,572,000～2,257,999) 2,122,000～3,040,001
2	(1,985,999) 2,535,999	(1,986,000～2,671,999) 2,536,000～3,402,501
3	(2,401,999) 2,949,999	(2,402,000～3,075,000) 2,950,000～3,765,001
4	(2,815,999) 3,317,501	(2,816,000～3,437,500) 3,317,502～4,127,501
5	(3,200,000) 3,680,001	(3,200,001～3,800,000) 3,680,002～4,490,001
6	(3,562,500) 4,042,501	(3,562,501～4,162,500) 4,042,502～4,852,501

単位:円 ( )内は旧基準

- ▽持参するもの
- 前住地の所得証明書(今年1月2日以降に市外から転入した人のみ、前住地市町村長発行のもの)
- 前住地の所得証明書(今年1月2日以降に市外から転入した人のみ、前住地市町村長発行のもの)
- 扶養義務者などが給与所得者のとき
- 詳細 保険年金課国民年金係 ☎221111内線458

- ▽開講日 9月2日から11月25日までの毎週木曜日 12回開催
  - ▽時間 18時～20時
  - ▽材料費 1回500円程度
  - ▽定員 25人
  - ▽締切 8月24日(消印有効)
  - ▽料理講座Ⅱ西洋・中華料理
  - ▽開講日 9月3日から10月29日までの毎週金曜日 9回開催
  - ▽時間 10時～12時30分
  - ▽材料費 1回500円程度
  - ▽定員 36人
  - ▽締切 8月26日(消印有効)
  - ▽着物着付講座
  - ▽開講日 9月7日から11月30日までの毎週火曜日 12回開催
  - ▽時間 10時～12時
  - ▽定員 25人
  - ▽締切 8月31日(消印有効)
  - ▽申込方法 ハガキに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、申し込みください。定員を越えた場合、抽選で決め、受講できる人に通知します。
  - あて先 ☎050東町4-29-1 胆振地方婦人会館 ☎448184
- 
- ▽定員 各30人(初心者対象) (1日コース)
  - 8月22日(日) 9時～17時 本輪西地区サービスセンター
  - 8月29日(日) 9時～17時 高砂サービスセンター
  - ▽3日間コース
  - 9月6日(月)～8日(水) 18時～21時 文化センター
  - ▽申込先 市教委事務局社会教育課 ☎229407
- 
- 8月19日スタート
- ▽啓明 後期開放授業
- 受講料は無料、1人2科目まで受講できます。
- ▽期間 8月19日～11月11日 毎週木曜日
  - ▽科目
  - 古典(短歌鑑賞)
  - 政治経済(日本国憲法と政治)
  - 英語(中級)
  - 数学I(図形と式)
- ▽開講時間 18時40分～19時25分
- ▽申込方法 8月16日までに電話で、市教委事務局社会教育課 ☎229407か、啓明高校 ☎229407、☎445692へ

### 16ミリ映写機 操作技術講習会

受講者には、市教育委員会の教材、教具が借りられる許可証を交付します。



### 児童扶養手当の現況届

### 特別児童扶養手当の所得状況届の提出を

### 児童扶養手当を受けている人は現況届けを、特別児童扶養手当の人は所得状況届の提出が必要です。

この届けで、前年の所得や児童の養育の状況などを確認します。届け出がなければ手当を受け取ることができなくなります。必ず届け出てください。

●8月20日(金)

輪西地区サービスセンター

高砂サービスセンター

※時間は、いずれも10時～16時。

▽詳細 福祉課社会係 ☎221111内線462

111内線462

### 市民法律相談

毎月第2、第4土曜日

▽相談日・相談員

8月14日 山本松男弁護士

8月28日 芝垣美男弁護士

▽時間 9時30分～12時

▽受付 予約制です。事前にご連絡ください。

▽申込先 広報広聴課市民相談室

(☎221111内線416)

※相談は無料です。

### ご協力ください

### 街頭献血

▽8月4日(水) 10時～12時、

13時～16時 室蘭生協高砂スト

### 57年度第2回 住宅建設資金の貸付受付

住宅金融公庫

8月30日まで

第3回受付から110㎡を超える住宅は、貸付利率が高くなる予定です。

▽詳細 公庫業務取扱金融機関か、市建築指導課 ☎221111内線562へ。

ア前

▽8月10日(火) 13時～16時ホームストア港北店前

▽8月12日(木) 10時～12時、

13時～16時 長崎屋室蘭中島店前

▽8月18日(水) 10時～12時、13時～16時 室蘭生協母恋ストア前

▽8月26日(木) 13時～16時30分 東室蘭駅西口前

### 特別土地保有税

### 申告納付は

### 8月31日までに

56年7月1日から57年6月30日までに、合計面積が5㎡以上の土地を取得した人は、特別土地保有税の申告納付が必要です。該当する人は、8月31日までに資産税課で申告納付してください。

▽詳細 資産税課土地係 ☎221111内線332

### 防火管理者講習会

事業所、学校、病院、工場、興行場、百貨店、雑居ビルなど、多くの人が出入、勤務、居住する建物には、消防法に基づき防火管理者を定めて、防火管理上の業務を行わなければなりません。この防火管理者になるための資格取得講習会を行います。

### 望洋台霊園行 無料 墓参バス運行 8/13～16日

霊園の美観保持のため、ゴミ類は指定のゴミ箱へ。また、子供物は持ち帰るよう、ご協力ください。 ◎自家用車でおいでの人へ 霊園内は一方通行です。駐車の際は墓碑側に駐車してください。

始発	東町ターミナル	本輪西駅前
コース	東町ターミナル→汐見→大平橋→丸井前→仲通り(中島交番前)→霊園	本輪西駅前→各バス停→すずかけ地蔵尊→霊園
日時	8月13日(金) 9:30～14:00…15分おき 14:00～16:30…30分おき 霊園発最終 17:40	10:00～13:00…30分おき 14:00……………最 終 霊園発最終 15:30
14日(土)	9:30～13:30…30分おき 霊園発最終 14:40	10:00～13:00 1時間おき 霊園発最終 14:10
15日(日)	9:30～15:00…30分おき 霊園発最終 16:10	10:00～13:00…2回のみ 霊園発最終 14:20
16日(月)	9:30～15:00…30分おき 霊園発最終 16:10	10:00～13:00 1時間おき 霊園発最終 14:20

### 他機関から

### 高等学校開放講座

### マイコン入門

道教育委員会の主催で、室蘭工業高校を会場に「高等学校開放講座」

▽日時 8月18日、19日 9時～17時

▽会場 胆振地方婦人会館

▽受講料 2千500円

▽締切 8月7日

▽申込先 市消防本部予防課 ☎222111

▽対象 一般市民

▽期間 10月4日、6日、8日、13日、15日、18日、20日、22日、25日、27日、29日、30日

▽時間 18時～20時(30日のみ13時30分～17時)

▽テキスト代 1千円程度

▽申込方法 8月10日から室蘭工業高校で申込書により受け付けます。

▽定員 20人(先着順)

▽詳細 室蘭工業高校(宮の森町3-1-1) ☎445711





## うまい話にご用心

# 素人には海外商品取引

「2、3カ月預ければ、銀行や郵便局より高い利子がつき、しかも元金保証」といった、誰もが飛びつくようなうまい話をして、大

豆や砂糖の海外商品先物取引（香港相場）の勧誘をするセールスマンがいます。  
商品先物取引の投機ですから、相場によって損をした場合は、追加証拠金を出さなければならぬといった、不利な説明はほとんどありません。  
香港商品取引所での先物取引は、実際には、委託証拠金の約10倍もの売買取引を行っている。  
一般の委託者は、刻々と変わる海外相場を確認することがむずかしい

◎この取引を規制したり、委託者を保護する法律がない  
などが特徴で、危険性が極めて高く、もうけることはむずかしいようです。  
市の消費者相談室に、勧誘のつて投機という認識をもたないま

ま契約し、多額の委託証拠金を支払ってから、不安になり相談に来る人がいます。  
商品取引の知識のない素人は、セールスマンの勧誘を受けても、このような危険な取引に参加しないことが賢明のようです。



うまい話はまず疑って

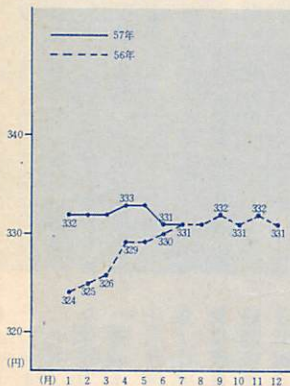
## 不用品ダイヤル市情報 ☎ 5000

▽読りませす 7月16日現在  
ダブルベッド、長いす、木製机、歩行器、紳士自転車、ベビーラック、ベビーバス、衣類乾燥機、加湿器、エアープール、編み機、ポータブルミシン、プロパン用瞬間湯沸器、ストーブガード、都市ガ

ス用ファンヒーター、ぶらさがり健康機、座いす型あんま機、ゴム編み機、エレクトーン  
▽譲ってください 整理たんす、二段ベッド、食卓いす、戸棚式テレビ台、コーナーいす、子供用食卓いす、自転車（婦人用、男児14〜22才、女児12〜18才）

婦人用三輪車、婦人用バイク、ベビーカー、ベビーベッド、ブランコ、すべり台、リヤカー、ステレオ、冷凍庫、冷蔵庫、カラーテレビ、ガレージ、都市ガス用瞬間湯沸器、ポータブル石油ストーブ、ポリ浴槽、キャンプ用 TENT、釣り具一式、足ぶみミシン、犬小屋、婦人用剣道防具、ふすま、和文タイプライター、ピアノ

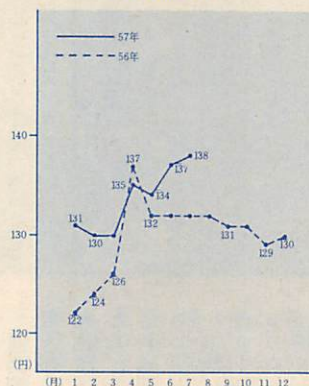
台所用洗剤の値動き



〔台所用洗剤〕

食物洗用・中性・800ml  
昨年の夏頃までわずかながら値上がり状態が続いていましたが、それ以降はほぼ横ばいで推移しています。

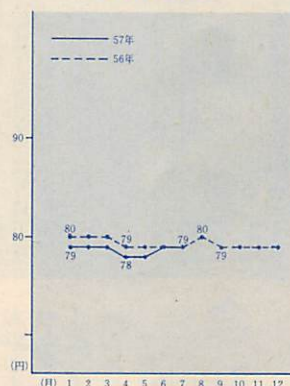
豚肉の値動き



〔豚肉〕

並、又はバラスライス  
昨年の4月以降横ばい状態でしたが、今年の3月から値上がりが気味に推移し、7月では対前年同月比で6円4.5%高くなっています。

豆腐の値動き



〔豆腐〕

もめん・400g  
ほとんど値動きのない品目です。80円前後で推移しています。

## モニターの目

## 値動き ⑪

市消費生活モニター調査



# 市史コーナー

97

## むかし話 ②

### 草創巷談

沢田 清作談

(明治五年春來蘭)

明治四年五月、開拓使の募集に  
応じ新潟より札幌へ大工及木挽二  
百五十人、函館へ二百七十人来る。  
函館に一年居りて五年春、新道開  
鑿に付、森を経て旧室蘭に渡った。  
当時官吏は士族にて算筆に暗いの  
で、対馬嘉三郎が、其方が出来る



昭和五十七年八月一日発行(毎月一日・十五日発行)

市政だよりむらら

(五三七号)

編集発行

五〇五

宝蘭市幸町一番二号 ☎(011)221-1111  
宝蘭市総務部広報広聴課

ので、室蘭に居て事務を執った。  
初めベキリユウダ(陣屋町)を  
根拠にする積りで、木材を多くベ  
キリユダに運び普請に掛ったが、  
トツカリモイが善いと云うのでト  
ツカリモイを開き、此処から札幌  
へ新道を開く事(を)した。

西洋人が縄張をする。半島(注  
・絵納半島)の最高所に登り、駒  
ヶ岳や諸方を見て見当を決めたの  
で、其山を見当山又は測量山 Ⅱ  
写真Ⅱと云う様になった。

新納(注・常陸)大主典は營繕  
係として六月に新室蘭に来て小屋  
掛けを始め、七月十七日には役人  
人夫多く来りて工事を始めた。

室蘭は根拠地となるので、家屋  
を新築した。五稜郭の建物を取毀  
して運び来り、官舎を建て、又南  
部大畑から松材を廻して来て之を  
使用し、人民にも払下げて建てさ  
せた。人民一戸は普通、間口五間、  
奥行十五間を割渡し、十二坪の家  
を建てることを命じ、一戸に付百  
円ずつ資本を貸与された。払下げ  
た木材代を差引いて渡されたが、  
十二坪の家が出来ないと渡されな  
い。地所を割渡しても家を建てな  
いものがあるので官から催促され  
る。人民は困って大工に頼み「大  
工が忙しいから後れたのだ」と、  
言訳させた。家屋建坪費は大抵一  
坪六円五十銭であった。家内に敷  
く藁床と薄縁も下付された。

道路工事の方は、皆天幕張りで  
仕事をした。人夫の組が幾つもあ

つて各組に半鐘を一個ずつ下渡さ  
れ、之を打って総ての差図をした。

又官吏の方では喇叭を午前、午後  
に吹いて、朝、小昼と夕小昼との  
食事の指図をした。

人夫一人に付、一日米一升、味  
噌三十匁、沢庵漬半本(又は梅干  
三個、又は「ラッキョウ」三個を  
渡された)を渡された。尤も初は

七合五勺であったが、仕事が烈し  
く飯も一日五回食べるので一升と  
したのである。外に一日に付金五  
十銭を与えられた。

総てが皆乱暴であった。組頭は  
帯刀で威張って人夫共を引廻した。  
何でも強いのが一番で、強い者が  
勢力があった。其上官吏も随分乱  
暴で新納大主典は常に拔身の刀を



明治時代の街とその付近

持って居て差図をしたものである。

開鑿の仕事が済んで越年となる  
と唯寝食いで、楽しみは、賭博の  
みである。食物が不足するので官  
米の下渡を得たい。止むを得ずん  
ば倉庫を破って引出さんと騒ぎ出  
す。之を新納大主典が抑えて居た。

新納の弟が会計を掌って居る。順  
番に願へと云うので、願って米何  
俵と借り出した。又新開地には貸  
座敷が必要だと云うので、仏坂の  
麓の処へ遊廓を作るつもりで其手  
金として金千円を人夫頭に貸渡し  
たが、此等の事に口をきいたのが  
山崎周次郎(津軽人、父を秀松と  
云う、古く移住した人である)で  
あった。会計係の新納が計算が粗  
雑で帳簿の整理もしないため金穀  
の出入はメチャメチャになった。

そこで函館に呼ばれて杉浦(注・  
誠)権判官に調べられたが一切不  
明瞭で申訳が出来なかった。其結  
果、新納は函館の武蔵野楼で自刃  
して了った。夫れから山崎周次郎  
は身代限り差出し僅か数十円を償  
ったのみで、跡は其假欵損として  
落着した。

## 叢談

地価の事 札幌通(プリンス  
ホテル付近)の辺は、明治廿二年、  
一坪三円の相場と定まりし事は既  
に記しているが、廿七年には六、七  
円となり、廿九年屯田銀行(中央  
町広場西側角キャバレー付近)は

今の処を一坪十五円で買いたり。

石井北次郎翁曰、明治二十一年、  
二年頃、本町の上等地一戸分(今  
の幸町)二十四、五円。追直は酒  
一樽(二斗五升入と云うは実は一  
斗三升位なり。価八十五銭位)な  
り。日清戦後(注・明治二十九年)  
大に騰貴し、製鋼所設置と欧州大  
戦時の景気により騰貴せり。先に  
二十四、五円の処、今二千七百八  
円なり。

道路の事 明治五年の道路は仏  
坂を越えたり。明治廿四年鉄道を  
輪西まで敷設して二十五年に開業  
した。右工事と同時にチャスを廻  
る新道開鑿成りて海岸路を通行す  
るに至り。

其後、四十年鉄道が二万余坪の  
埋立を為し棧橋を設けんとするに  
至り右海岸道路を廃し、更に仏坂  
に新道を開けり。



茶津岬廻り新道トンネル